



若き日の清正は、秀吉の臣として長浜城下に居を構えたはずですが、賤ヶ岳の戦い以前の近江での足跡はほとんど分かっていないまぜん。その中にあって、清正が頻繁に訪れたであろう場

戦国時代の武将達は、誰の下につくか、誰に信を置くかで運命が変わりました。一度の間違いが滅亡につながる乱世において、加藤清正は正しい選択をした。勝ち組と言えるでしょう。

## ■ 山崎山城跡（彦根市）

# 清正や信長も見た風景



**上**山崎山城跡主郭のやぐら跡＝彦根市  
**下**稻里町で  
山崎山城跡から見た安土山



A QR code located at the top right of the page, which links to the official website for Yamashita Castle跡.

所が今回紹介する彦根市稻里町の山崎山城跡（市指定文化財）です。

清正は城主の片家の娘を妻とし、嫡男の虎熊の死後、妻の弟の山崎百助を養子としています。親密な関係から、折に触れて妻の実家であったこの城を訪れたことが想像できます。若き日の清正是、愛知川の対岸にそびえる壯麗な安土城天主や眼下に広がる湖東平野を目にしたことでしょう

天正10（1582）年4月、天下統一を目前にした信長も、武田家を滅ぼした後、安土への凱旋中にこの城に立ち寄って供宴を受けました。しかし、同年6月、信長は本能寺の変で明智光秀に討たれます。安土城守備隊長の一人であつた片家は、安土城より退去。

しが旅のススメ

これまでの「しが旅  
のススメ」は、ちら  
から

【アクセス情報】JR河瀬駅から徒歩45分。名神高速道路湖東三山スマートインターチェンジ（IC）から20分（無料駐車場あり）。◆

山崎山城跡からの眺望  
に、加藤清正・織田信長・  
山崎片家ら、戦国武将に思  
いをはせてはいかがでしょ  
うか。

し、山崎山城に籠城しますが、明智方の大軍を前に降伏します。明智側についた片家結果、負け組となつた片家ですが、清正らと信を結んでいたこともあり、許されで豊臣家臣となります。

山崎家は関ヶ原の戦いでも西軍に属して敗北しますが、本能寺の変と関ヶ原の戦いの2度の戦いで敗者となつて生き残った唯一無の戦国大名家です。香川県にある丸亀城の石垣は江戸時代、片家の孫の山崎家治が築いたものです。